

太刀魚のお腹の中に大きな白い骨のようなものが入ってた！

「冷凍太刀魚の内臓と筋肉の間に親指大の骨状の異物が入っていた。異物が何なのか調べてほしい。」という一般依頼検査が持ち込まれました。(図1)

異物の大きさは26mm×22mm×9mmで約4.7g、帯黄白色で(図2)、断面は年輪状に4つの層を形成しており、中心部は多孔質の骨様(図3)でした。

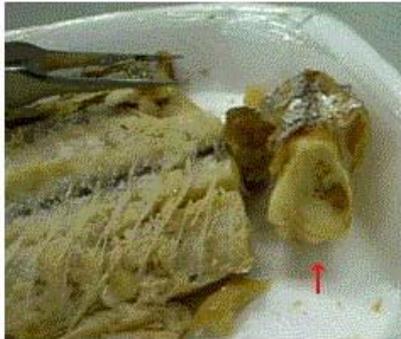


図1 太刀魚の骨状異物

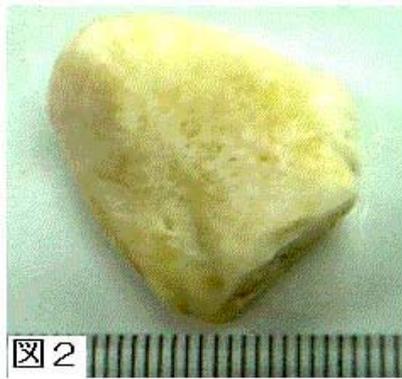


図2



図3

そこで、この異物と太刀魚の背骨を元素分析したところ、その主成分は両者ともカルシウムとリンで、含有率もほぼ等しく(表1)、この異物は太刀魚の骨腫であると推察されました。

文献によると太刀魚や鯛の老体魚ではときどき骨成分の異常沈着が起こることがあり、こぶ状の形をしていたり、背骨に連続して付着していたりすることがあるそうです。

表1 電子顕微鏡(EDS)による元素分析結果

検体名	Ca	P
異物	29%	23%
太刀魚の背骨	28%	24%

文献 灘神戸生活協同組合商品検査センター 編:食べ物110番クレーム事例集, 神戸新聞出版センター, (神戸), 1987